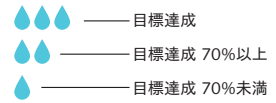


# 「水と生きる」活動実績と目標

CSR ビジョンに基づく、2007 年度の主な活動実績と 2008 年度に向けての重点課題を表記しました。



重点活動テーマ	2007 年度重点課題	2007 年度実績	評価	2008 年度重点課題	関連ページ	
CSRマネジメント	コーポレート・ガバナンス	● 内部統制の充実	● J-SOX法対応の準備 ● 内部統制システムの構築	3	● 「内部統制システム構築の基本方針」の見直しと推進	P.20
	コンプライアンス / リスクマネジメント	● コンプライアンス意識の浸透・定着	● 全課長を対象に研修を実施 ● グループ会社経営層を対象に研修を実施	3	● コンプライアンス意識の浸透・定着・社会動向に対応し、「企業倫理綱領」を改定 ● 経営層・マネジャー層研修の継続実施 ● コンプライアンス浸透度調査の実施	P.21 ~22
		● ホットライン制度のさらなる周知・運用	● イン트라ネット上への「ホットライン Q&A」掲載によるホットライン制度の定着	3		
		● 情報セキュリティ推進体制の強化	● 「情報セキュリティ委員会」の設置 ● 「情報セキュリティガバナンス規定」の制定	3		
	品質保証	● 原料・輸入商品の品質保証強化	● 原料・輸入商品のトレーサビリティ強化 ● 輸入商品、中国産原料の品質保証強化	3	● 原料・輸入商品の品質保証強化	P.23 ~24
		● 情報開示の推進	● 原材料、栄養成分表示の強化 ● ホームページでの情報開示強化（リニューアル）	3	● グループ会社の品質ガバナンス強化	
水とともに生きる ～自然との共生～	環境	● 用水使用量の削減	● 用水原単位 1.4%削減	3	● 「水のサステナビリティ」実現に向けた取り組み強化 ● 水源涵養活動エリア拡大 / 用水使用量削減	P.29 ~30
	● CO <sub>2</sub> 排出量削減	● CO <sub>2</sub> 排出原単位 8.9%削減	3	● CO <sub>2</sub> のさらなる削減	P.31 ~34	
	● 水源涵養活動の強化	● 「天然水の森 奥大山」契約締結 ● 社員の森林保全活動実施(285名参加)	3	● 次世代環境教育の推進※ ● 「森と水の学校」/ 「水育」展開を拡大	P.29 P.40	
社会にとつての水となる ～社会との共生～	お客様	● お客様対応サービス・品質の強化	● システム活用による販売店に関する情報提供の迅速化	3	● お客様対応サービス・品質の継続強化	P.43
		● お客様第一の徹底 ● お客様視点プロジェクトの拡充	● 対象をスタッフ部門に拡大（計 1,600 名参加）	3	● お客様第一の徹底 ● お客様視点プロジェクトの対象をグループ会社に拡大	
	適正飲酒の啓発	● 飲酒運転予防の取り組み強化 ● 指定ドライバー制度の導入検討	● 工場見学者に対し指定ドライバー制度を導入	3	● 適正飲酒に関する情報発信の継続強化 ● ホームページを活用した情報発信	P.44
		● 未成年者飲酒防止の啓発	● 教材やツールを活用した啓発活動の強化	3	● 妊産婦飲酒の防止の啓発活動強化	
	お取引先	● CSR 調達への取り組み強化	● 継続検討中	1	● CSR 調達導入に向け研究会発足	P.45 ~46
● 物流協力会社有事アクションプランの徹底・強化		● 全拠点での災害伝言ダイヤル定着化	3	● 物流協力会社における安全・環境活動の推進		
文化・社会貢献	● 次世代育成支援プログラムの充実・強化	● 「森と水の学校」実施(約1,800名参加) ● 「水育」出張授業の募集エリア拡大(65校実施)※	3	● 各活動拠点での次世代育成支援プログラムの充実・強化	P.47 ~48	
水のように自在に、力強く ～社員ととむに～	従業員	● 適正な労働時間への取り組み	● 労働時間外形管理の徹底	3	● 適正な労働時間への取り組みの継続・強化	P.53 ~54
		● ワークライフバランスに配慮した支援・制度の拡充	● ジョブリターン制度、フレックスタイム制度の導入 ● 在宅勤務制度の試行導入	3	● ワークライフバランス実現に向けた支援強化	
		● キャリア形成の支援・強化	● キャリアサポート室の設置 ● 世代に応じたキャリア・ワークショップの開催	3	● 社員のキャリア自律の支援強化	P.52

※2008年より「森と水の学校」「水育」は担当業務を環境部に移管